

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動
	発表値 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現	
大津波警報	10m超 (10m～) 10m (5～10m) 5m (3～5m)	巨大	低地部・かさ上げ地にいる人は、 ただちに高台へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報 が解除されるまで安全な場所から離れない でください。 ここなら安全と思わず、より高い 場所を目指して避難しましょう！
津波警報	3m (1～3m)	高い	
津波注意報	1m (0.2～1m)	(表記無)	低地部にいる人は、 ただちにかさ上げ地へ避難してください。 津波注意報が解除されるまで低地部に入ら ないでください。

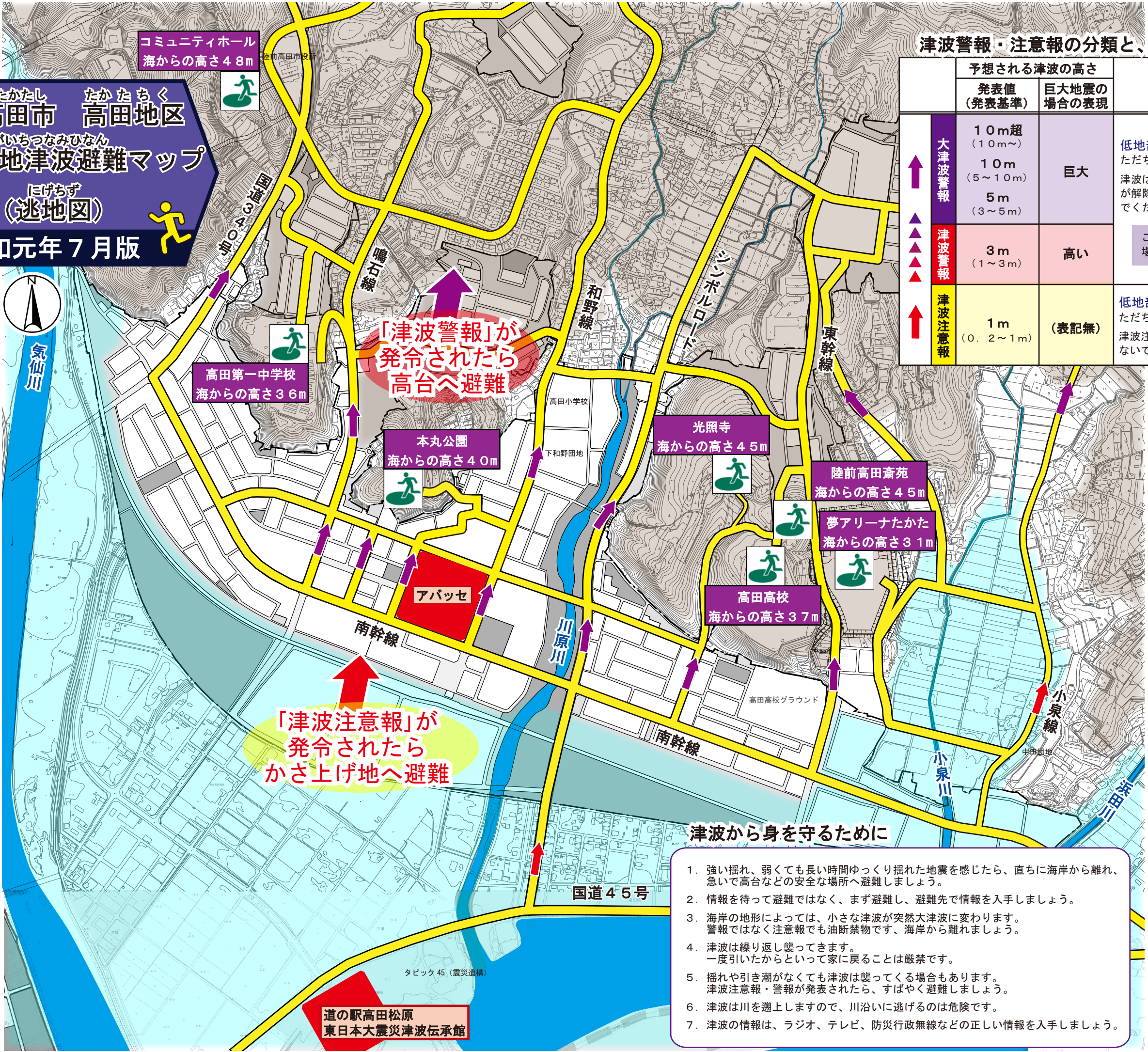
りくせんたかし
陸前高田市

たかたちく
高田地区

ちゅうしんしがいちつなみひなん
中心市街地津波避難マップ

にげちず
(逃地図)

令和元年7月版



津波から身を守るために

1. 強い揺れ、弱くても長い時間ゆっくり揺れた地震を感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。
2. 情報を待って避難ではなく、まず避難し、避難先で情報を入手しましょう。
3. 海岸の地形によっては、小さな津波が突然大津波に変わります。警報ではなく注意報でも油断禁物です、海岸から離れましょう。
4. 津波は繰り返し襲ってきます。一度引いたからといって家に戻ることは厳禁です。
5. 揺れや引き潮がなくても津波は襲ってくる場合もあります。津波注意報・警報が発表されたら、すばやく避難しましょう。
6. 津波は川を遡上しますので、川沿いに逃げるのは危険です。
7. 津波の情報は、ラジオ、テレビ、防災行政無線などの正しい情報を入手しましょう。

凡例

主な避難路

避難方向

大型集客施設

施設名
海からの高さ〇〇m

避難場所

400m

健康者が5分で歩ける距離が
およそ400mです